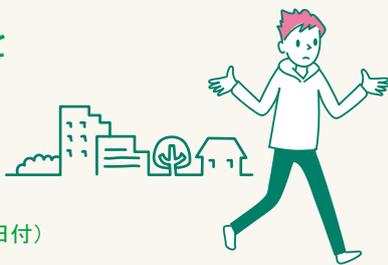


# 日本と中国

## 緊張と対立を どうしたら？



「対話すすめるべき」75%（「日経」6月26日付）

「中国の脅威」を煽ったり、「軍拡には軍拡」で応じたら、緊張はエスカレートするばかり…。いまこそ平和をつくる外交が必要です。日本共産党は3月、「日中関係を前向きに打開する提言」を発表し、日本政府と中国政府に直接申し入れました。

### 「互いに脅威とならない」の合意

志位和夫委員長は、日中両国がお互いに確認しあっている合意を土台に関係を改善させ、平和と友好の関係をつくるべきだと提案。岸田首相も中国大使も、肯定的に応じました。「互いに脅威とならない」の合意を守り、具体化すべきです。



「脅威とならない」はいまでも維持」（岸田首相）=3月30日

「中国政府の立場と共通」（吳江浩中国大使）=5月4日



### 「力による現状変更」「人権侵害」はきびしく批判

尖閣諸島、ウイグルや香港…。日本共産党は、中国の覇権主義と人権侵害を引き続ききびしく批判します。